

## 令和5年度 第1回長野県長野高等学校学校評議員懇談会 記録

1. 日 時 令和5年 6月 6日 (火) 14:55～16:15

2. 会 場 長野県長野高等学校 大会議室

3. 出席者

学校評議員4名 (五十音順)

小林 優氏 (長野市PTA連合会副会長)、

竜野 泰一氏 (エーシーエ設計(株) 代表取締役)

中村 正行氏 (信州大学工学部教授)

藤井 純子氏 (東口メンタルクリニック臨床心理士)

学校職員10名

4. 学校評議員懇談会

(1) 開会 (14:55～)

(2) 学校長挨拶・委嘱 (14:55～)

・本年度より本校校長を拝命いたしました。前任は、県教育委員会事務局です。

まずは、令和4年度末の不祥事により、本校職員2名が懲戒免職となる事案が発生しました。今後、本校への信頼を回復すべく様々な工夫を凝らしながら努力していく所存であります。

・新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同様の5類になったことにより、コロナとの付き合い方にも変化がありました。マスクの着用を求めないということですが、本校の生徒の多くは、相変わらずマスクを着用しています。

・先日行われました吹奏楽班の定期演奏会では、入場制限を設けずに実施しました。今月末に行われる金鷄祭につきましても、コロナ前の規模で実施する予定です。

・毎日ブログを更新しているので、是非ご覧ください。

(3) 自己紹介 (高校職員のみ)

(4) 学校の状況について (15:10～)

①全日制の概況：(全日制教頭)

・4月6日の入学式で新入生278名を迎え、全生徒数が832名でスタートしました。本年度は、アフターコロナということで、コロナ前の教育活動を取り戻す、重要な時期であると考えています。

・5月27日に行われた公開授業では、昨年度は在校生の保護者のみの参観でありましたが、本年度は地域の皆様にも参観いただきました。参観者数は昨年度223名でしたが、本年度は700名と大きく増加しました。

- ・4月28日に駅伝大会が実施され、本日はクラスマッチが行われています。マスクを外し、大きな声で声援を送る生徒の姿が見られ、校内に活気が戻ってきています。
- ・今後は、本校の伝統を踏まえながら、新しい発想での学校運営が求められています。生徒諸君もよく頑張っています。

#### ②進路指導係より：(進路指導係)

- ・本校の進路指導は、基本となる3点をもとに、年度当初の進路指導計画に基づいて行われている。
- ・1、2学年では、生活・学習習慣の確立、基礎学力の定着を目指し、NGPの課題研究等を通して自己理解を深め、大学選びや2年次での選択科目の決定に繋げていく。
- ・3学年では、自立した学習者として学校生活のすべてに集中し、大学進学へ繋げていく。
- ・2023年度の現役生の合格率は84.4%、進学率は80.1%で、過去数年で最高の実績だった。また、難関大合格者43名、国公立医学科合格者7名とよく健闘した。
- ・推薦型入試を利用した生徒は、全体の約10%程度で、ほとんどの生徒が前期・後期の一般入試を出願し、結果を出している。
- ・大学入試も多様化しており、これまでの学力に加えて $+\alpha$ の力が求められている。今後も主体的で対話的な授業、ICTを活用した授業をさらに深化させ、生徒の論理的思考や表現力の育成を促しながら、真の学びの上に進路実現が果たせるよう努力を続けていく。

#### ③生徒指導係より：(生徒指導係)

- ・一昨年度27件の交通事故が発生し、昨年度より自転車通学者のヘルメット着用を指導している。本校のヘルメット着用率は約80%である。今後も指導を継続する。
  - ・本年度は、警察より自転車安全利用校に指定されている。本年度4月～5月の交通事故発生件数は、報告されたもので15件である。
  - ・精神科医による心の健康相談は、5月から年間9回実施し、登校できないことに関する相談が多かった。
  - ・保健室については、心身の不調を訴える生徒が年々増加している利用状況を踏まえ、本年度より相談室を設置し、担当する職員が巡視する体制をとっている。
- 今後も外部医療機関との連携やカウンセリング等により、生徒のメンタル面のケアに注意を払いたい。

#### ④生徒会係より：(生徒会係)

- ・昨年度4月、新型コロナウイルス感染症対応により新入生歓迎会はオンラインで行ったが、本年度は小体育館で実施した。また、応援練習は、小体育館の練習では、コロナ感染

症防止の観点から声出しを止め、中庭では声出しの練習を行った。

・恒例の駅伝大会、本日のクラスマッチでは、大きな声を出して応援する生徒の様子が見られ、校内が明るい雰囲気になった感じがする。

・今月末の金鵝祭も、コロナ前の状況に戻して実施すべく、生徒も頑張っている。

#### ⑤NGP係より：(NGP係)

・NGPとは、文部科学省に指定されたSGH事業の後継事業である。グローバルな視点で社会を捉える、本校の探究活動、グローバル教育の総称である。

・本校のNGPの柱は、国際交流、課題研究で、1年次の米国リーダー研修、2年次の台湾交流、3年次は選択となっている。

・昨年度、1クラス40人の課題研究を2名の教員が指導する形で、どうしても指導が行き届かない形となってしまったので、本年度は、生徒の多様なニーズに対応するため、毎週月曜日の6限目の授業に設定し、全職員で指導をする形にした。

・国際交流については、コロナ前の取り組みに戻す。1年生3月の米国リーダー研修は、定員40名、現地での研修を実施する予定である。

#### ⑥定時制の状況について：(定時制教頭)

・本校定時制では、始業前授業(0限目)を受講することで、3年間で卒業が可能となる。昨年度の卒業生は、9名で、そのうち7名が3年で卒業である。

3年で卒業可能であったが、あえて4年卒業を選び、人間的に大きく成長した生徒もいた。

・義務教育段階で不登校を経験している生徒が多いが、卒業後の進路を考えながら、現在は頑張って、毎日登校している生徒がほとんどである。

・様々な家庭環境やメンタル面の不安を抱えている生徒が多く、外部機関との連携を密に取りながら、さらなるサポート体制の充実を図りたい。

#### ⑦学校評価について：(全日制・定時制教頭)

・本年度の重点目標は4点、特に探究活動の深化・発展を中心に学校運営を展開したい。理科系における生徒個人の課題研究も充実させたい。年度末に評議員の皆様へ評価をよろしくお願いいたします。(全日制)

・生徒個々に応じた支援体制づくりが極めて重要である。まずは、学校に通えるよう、学び直しによる基礎学力の定着を目指す。(定時制)

《各評議員に依頼》

#### (5)意見交換

○評議員：保健室利用状況について、年間利用件数の内科系件数が令和3年度と比べて、令和4年度が倍増している理由は何か。

学 校：昨年度は、メンタル面で教室に入りたくないという生徒数もカウントしたために増えた。

○評議員：身近な先生が明るく元気で、生徒にその元気さを与えられる魅力的な学校であってほしいと思う。

○評議員・同窓会の集まりで、よく校歌を歌う。応援練習などでしっかり練習して、校歌を歌える生徒にしてほしい。

・長野高校の伝統を継承しつつ、時代にあった新たな学校づくりに取り組んでほしい。

・自転車通学の生徒には、ヘルメット着用率が、是非 100%となるように指導を継続してほしい。

・NGPの取り組みは、外の世界を知る上で、極めて重要である。是非、継続して取り組んでほしい。

○評議員・本日開催されているクラスマッチを拝見したが、お揃いのユニフォームを着て盛り上がっている生徒達を見て、昔のように元気みなぎる雰囲気を感じた。

・班活の活動時間を制限しろという保護者の意見があると聞かすが、どのようになっているのか。

学 校：本校のHPに詳細は掲載されているが、活動時間は、平日は原則午後7時までとなっている。しかし、競技の種類により活動時期が異なっているため、年間を通して集中すべきところと休むところを各班で設定して活動している。

○評議員：保健室に専門の先生は何人いるのか。

学 校：保健室には、専門の養護教諭が1名いる。年度当初の検診が立て込んでいた時期のみ2名となっている。相談室は、担当の教諭が当番制で巡回している。本年度はPTA予算で、スクールカウンセラーを1名増員して、対応している。

○評議員：理系の課題研究の支援はどのように行われているのか。

学 校：理科の教員全員でサポートしている。夏休みを利用して、活動する予定である。

○評議員・本校の生徒は、日本全国あるいは世界に羽ばたくような人材であると思うが、是非、長野に戻ってきて、長野を活性化させるような人材、地域を考えるグローバルな生徒の育成にも尽力してほしい。

・指導する先生方の苦勞、孤独感、責任は重く、大きなストレスがあると思う。先生方のストレスをどう解消するのも重要な課題であると思う。先生方の相談室も必要なのでは。先生方が明るく元気でないと魅力的な学校とはならないと思う。

学 校：校長が職員と密にコミュニケーションをとることが重要であるとする。校長としての課題であると感じている。

(6) 校長より御礼の言葉

(7) 閉会 (16:15)